



上智大学創立 100周年  
 上智短期大学創立 40周年  
 上智社会福祉専門学校 50周年



## 秦野キャンパスの四季

## No. 4

秦野キャンパスは、神奈川県央の西部の秦野市の中心部から南方向約 1.5km の丘陵地にある。秦野キャンパスには、上智短期大学、上智秦野セミナーハウス、クラブハウス、総合グラウンドの施設が点在する。キャンパスからは西方向には富士山、北方向には丹沢山系および秦野市街が見渡せ、南方向には相模湾を望むことができる。秦野キャンパスは、緑豊かで自然に恵まれ、四季を身近に感じることができる教育環境のとてもよい場所に位置している。



### 春

秦野の春は早い。先日降った雪が丹沢表尾根に残っていても、大山から吹き下ろす風の寒さもどこか緩んでくる。日差しも日一日と春めいてくる。ロウバイ、白梅や紅梅の花々が咲き始め、コブシ、



レンギョウがキャンパスを

彩るころ、新学期を迎える準備が始まる。キャンパスのあちらこちの桜の木々が春の到来を知らせ、人を迎える季節となる。百花繚乱。やがて咲き誇った桜が、木々の新緑に譲る頃キャンパスには華やいた声が戻ってくる。



### 夏

秦野市は、盆地で水の豊かな街であり、丹沢の登山口でもある。喧噪の届かない



緑の丘のキャンパスが、一時歓声とため息に包まれる時がある。スポーツデーだ。木々や草の緑がますます色濃くなる。緑の丘から眺める空が雲の博物館となる。咲き始めた紫陽花や流れ行く雲の勢いに梅雨が近いことを知る。



梅雨の晴れ間に顔を出す富士山は、残雪も消え既に夏山の装いとなっている。キャンパスの木々が色濃く陰を落とす。ヒグラシが夕暮れに鳴き、湘南の海から吹き寄せる南風を一杯に受ける頃、グラウンドやクラブハウスが学生たちで賑わうようになる。夜遅くまでクラブハウスの灯りは消えない。アブラ蟬やミンミン蟬の合唱する季節となる。

## 秋

秋は、暑さの中に忍び寄る。ツクツク法師の声がゴオロ



ギや秋の虫の音に代わり、キンモクセイの香りが何処からともなく漂ってくる頃、キャンパスは学生祭の準備で忙しくなる。



春に桜の花で彩られたキャンパスが今度は赤や黄色に色づく。キャンパス北のすぐ向かい側にあるハイキングコースとして有名な弘法山も山頂から麓へと紅葉がおりてゆく。どこかで落ち葉を集めて焚き火をしているのだろう。秋の一日は空が抜けるほど高い。モズの鳴き声が静かなキャンパスに響く。ある朝スクールバスがキャンパスの坂を上りきった時、富士山が突然雪化粧をしている。色づく街は秋でも、冬の訪れの近いことに気づく。

## 冬

秦野の冬は静かに訪れる。冬の朝キャンパスは霜に覆われる。冬の日差しは弱くても葉を落とした木々のおかげで陽光の恵みは十分に味わえる。くすんだ常緑樹の間に紅葉や黄色に色づいたイチヨウ葉がまだ残っていても、やがて木枯らしが冬の装いに変える。ツグミが辺りを気にしながら枯れた芝の上を低く飛ぶ。晴れの日が続き、いつか富士の峰が麓まで真白く雪を冠っている。事務棟3階のチャペルにポインセチアが飾られる。右から雪を頂いた二ノ塔、三ノ塔、塔ノ岳と丹沢表尾根を校舎棟3階から臨む。山々が荘厳さを帯びる。凜とした季節。キャンパスのもみの木にクリスマスのイルミネーション



が点灯し、ソフィアホール2階のサービスラウンジセンターの照明

が明るさを増すと、秦野キャンパスにも冬の夕闇が迫る。

